

近代文学の雄、田山花袋が描く妻沼近郊の物語『残雪』を読み解く

文豪田山花袋の軌跡

妻沼逍遙 『残雪』 脱却の旅

増田育雄著

Ikuo Masuda

定価(本体 1800円+税)
A五判・並製本・288頁
ISBN 978-4-89623-162-5

人文学

明治文学界を席卷した文豪田山花袋の後期の名著『残雪』。

埼玉県妻沼の名刹聖天山とその境内の割烹「千代榎」を舞台にした、文学上の葛藤と一人の女との愛欲の苦悩、そして、「脱却願望」の苦闘、心境が描かれる花袋の意欲作を丹念に分析する。

本書では『残雪』の読解の他に、館林を故郷とした生い立ちや文学仲間たちとの交流、当時の社会情勢などを掘り起こし、巧みな平面描写で自身の真実を吐露してきたこの大文豪の新たな一面を読者に示していく。

◆本書構成

はじめに／凡例

第一部 脱却の旅

第一章 『残雪』(概要)

第二章 『残雪』(補説)

第三章 『残雪』の

執筆の周辺

第二部 文豪田山花袋の軌跡

第一章 花袋の生い立ち

第二章 作家への道

第三章 文豪田山花袋

おわりに／【参考文献】

当時の文豪たちの
葛藤や情熱がよみがえる

花袋が生涯忘れることのなかった故郷館林、生い立ちから掘り起こし、莫逆の友 太田玉茗や文学仲間、また田山家の家族について、著者自身が取材を重ね記す第二部

大正期の世相世情、花袋の周囲を丹念に追い、名著『残雪』を考究。実際に使われた巨匠 名取春仙の挿絵も取り入れ雰囲気も再現し、『残雪』を読み解く第一部

田山花袋

近代文学の礎を築いた一人として
名高い大文豪の
後期への分岐点
となる注目の作品

『残雪』を丹念に紐解く



大增280頁の2部構成でおくる
田山花袋の再評価と妻沼の地の新たな潮流



申込書

妻沼逍遙

文豪田山花袋の軌跡

『残雪』 脱却 の旅

増田育雄著

(本体1800円+税)

ISBN 978-4-89623-162-5

注文数

冊

お名前

電話番号

書店名

まつやま書房 ☎ 0493-22-4162
Fax 0493-22-4460
〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5

問い合わせ先 **まつやま書房**

〒355-0017 東松山市松葉町3-2-5
Tel.0493-22-4162 Fax.0493-22-4460

<http://www.matsuyama-syobou.com/>